

第12回鋼構造シンポジウム

「溶融亜鉛めっき部材の計画と製作 & 溶融亜鉛めっき高力ボルト」

概要：

今年行われた JASS6 改定では、溶融亜鉛めっきを施した部材の摩擦面処理について、これまでのブラスト処理に加えてりん酸塩処理が追加されました。これを機会に、溶融亜鉛めっき部材の計画と製作の注意点など基礎的な話を中心にしながら、溶融亜鉛めっき工法の近年の動向について講演をおこないます。あわせて、溶融亜鉛めっき工法に欠かすことが出来ない溶融亜鉛めっき高力ボルトの特性や施工上の注意点について講演をおこないます。講演後に会場から講演内容についての意見交換や質疑応答を行います。

本シンポジウムは、より合理的な鋼構造設計や鋼構造建築物の製作に繋げていただくために企画いたしました。会員各位におかれましては、ご多忙な日々を送られていることと察しますが、多くの方に参加していただきますようお願いいたします。

主催：日本建築学会中国支部,日本建築構造技術者協会中国支部,協同組合広島県鉄構工業会

会場：広島工業大学広島校舎（広島市中区中島町 5-7）

内容：溶融亜鉛めっき部材の計画と製作の注意点など基礎的な話を中心にしながら、溶融亜鉛めっき工法の近年の動向について講演をおこないます。あわせて、溶融亜鉛めっき高力ボルトの特性や施工上の注意点について講演をおこないます。講演後に会場から講演内容についての意見交換や質疑応答を行います。

講師：溶融亜鉛めっき部材の計画と製作：平川剛（日本溶融亜鉛鍍金協会 技術部長）

溶融亜鉛めっき高力ボルト：高浦弘至（日鉄住金ボルテン株式会社 技術部部長）

日時：12月8日（土）15:00~17:00 定員：80名

参加費：無料

対象：主催団体会員,構造設計者,鉄骨製作技術者,大学院生,大学生

問合せ：広島工業大学 建築工学科 清水 齊 h.shimizu.tn@it-hiroshima.ac.jp